

持続可能な地域コミュニティのあり方



持続可能な地域コミュニティのあり方検討部会

令和7年3月

はじめに

地域コミュニティ（自治会）は、一定の区域の住民同士が協力して住みよいまちにするための基盤であり、住民にとって大変重要な役割を果たしています。

近年、全国的に人口減少、少子化・高齢化などの社会構造や価値観の変化により、地域コミュニティの維持が困難となっており、本市においても同様の課題が顕著になっています。

このような中、宮津市自治連合協議会では、令和3年度から、様々な課題の解決に向けて幹事会のメンバーを構成員とした「持続可能な地域コミュニティのあり方検討部会」を設け、持続可能な地域コミュニティ・自治組織のあり方について検討を行ってきました。

自治会には、それぞれの地域の特性や特長、規模に応じたさまざまな形があり、正解というものがない中で、各地域で取り組まれている活動等について、お互いに学び合ってきました。

このたび、持続可能な地域コミュニティのあり方についてまとめましたので、各自治会の今後の活動の参考となれば幸いです。

令和7年3月

宮津市自治連合協議会 会長 角 茂一

目 次

1. 持続可能な地域コミュニティのあり方策定の趣旨

持続可能な地域コミュニティのあり方策定の目的		1 ページ
持続可能な地域コミュニティのあり方策定の構成		1 ページ

2. 地域コミュニティの現状と課題

宮津市の自治会組織		2 ページ
地域コミュニティが抱える課題		3 ページ

3. めざす地域コミュニティ

自治会の活動		4 ページ
自治会の体制		5 ページ
市とのかかわり		7 ページ

4. 巻末資料

単位自治会アンケート		8 ページ
地区自治連合会アンケート		29 ページ
自治会に関するアンケート(市内小中学校保護者アンケート)		36 ページ

第1章 「持続可能な地域コミュニティのあり方」の趣旨

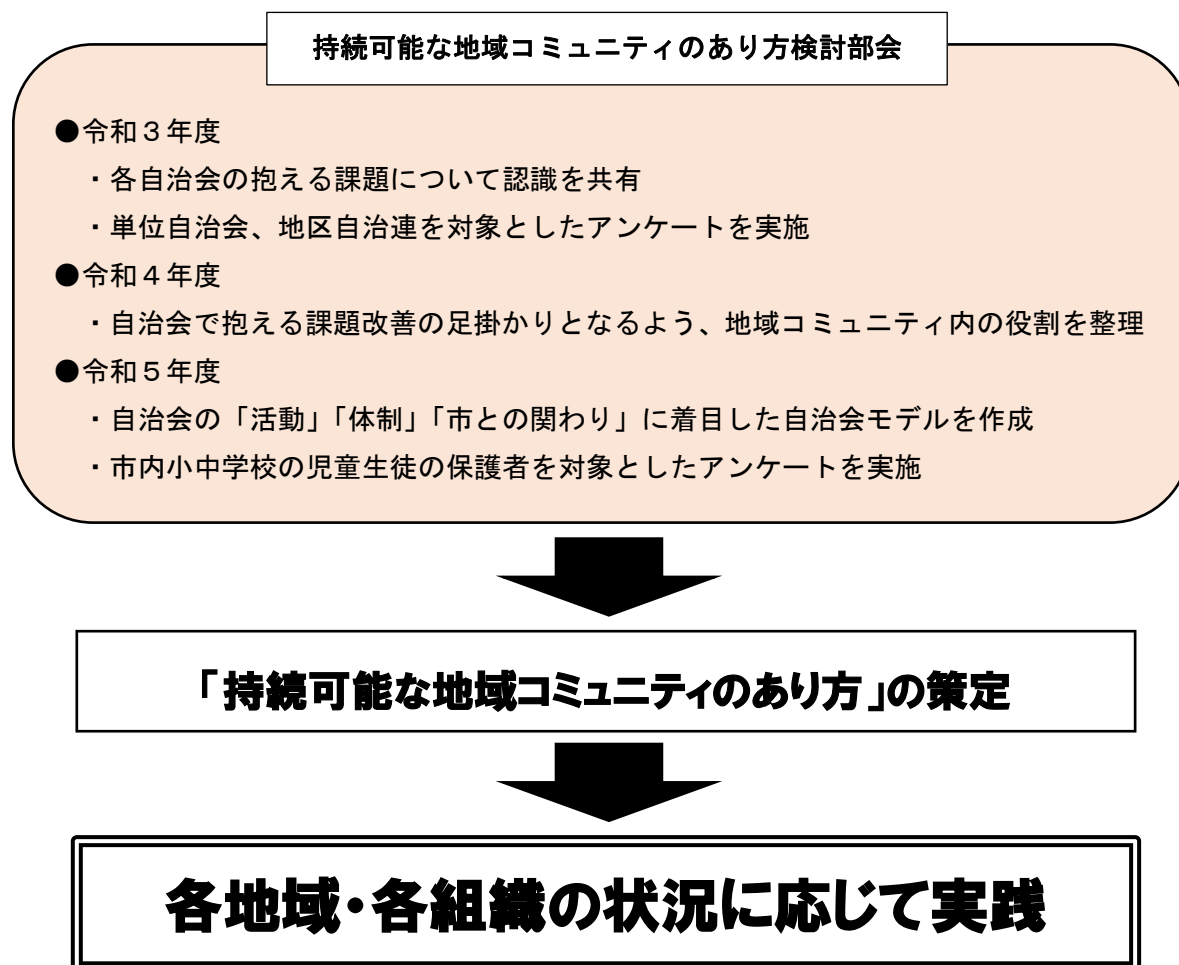
1. 「持続可能な地域コミュニティのあり方」策定の目的

宮津市自治連合協議会幹事会のメンバーで構成した「持続可能な地域コミュニティのあり方検討部会」は、今後も人口減少が続き、様々な課題が生じることが予測される中で、従来の「自治会」や「自治連」単位の地域コミュニティのあり方を考え直すという目的で、お互いに地域の良さや課題などを学び合いながら検討を重ねてきました。

このまとめは、住民同士が協力して住みよいまちにする基盤となる地域コミュニティの課題を明らかにして、今後も地域コミュニティを持続していくために求められる地域のあり方、また、それを実現するために必要なポイントを示すものです。

2. 「持続可能な地域コミュニティのあり方」の構成

このまとめの構成は、第2章において、検討部会が実施したアンケート結果等を用いて、市内の地域コミュニティの現状や課題を整理した上で、第3章において「めざす地域コミュニティ」のモデルを示します。



第2章 地域コミュニティの現状と課題

1. 宮津市の自治会組織

宮津市には、102 の自治会があり、自治会の規模は 10 世帯以下から 360 世帯などさまざまな状況です。(令和 6 年 10 月現在)

その内の 99 の自治会は、連合組織として地域別に 14 の連合自治会を組織しています。また、各自治会長によって宮津市自治連合協議会を組織しています。

宮津市自治連合協議会

●宮津中部地区自治連合協議会

本町、魚屋、新浜、宮本、万町、京街道、大久保、柳縄手、島崎

●宮津西部地区自治連合協議会

金屋谷、亀ヶ丘、松ヶ岡、池ノ谷、白柏、浪花、漁師町、日吉、杉末

●宮津東部地区自治連合協議会

鶴賀、城内、城東、城南、旭が丘、第 2 旭が丘、西波路、波路町、グンゼ

●宮津城南部地区自治連合協議会

滝馬、百合が丘、福田、宮村上、宮村、辻町

●宮津城東部地区自治連合協議会

惣、皆原、山中、波路、東波路、獅子崎、つつじが丘、問屋町

●上宮津地区自治連合会

小田、喜多、今福、天神、松縄手

●由良自治連合会

由良脇、由良宮本、浜野路、港、下石浦、上石浦

●栗田地区自治連合会

新宮、脇、中村、小寺、上司、中津、小田宿野、島陰、田井、矢原、獅子、銀丘、鏡ヶ浦

●吉津地区自治協議会

須津、夕ヶ丘、文珠、浜垣、宝山

●宮津市府中地区連合自治会

江尻、天橋、難波野、大垣、中野、小松、溝尻、国分

●日置地区自治連合会

浜、上

●世屋自治連合協議会

畑、下世屋、松尾、木子、上世屋

●養老自治協議会

田原、大島、岩ヶ鼻、外垣、長江、里波見、中波見、梅ヶ谷、奥波見

●宮津市日ヶ谷地区自治連合会

立、大西、厚垣、落山、薮田

2. 地域コミュニティが抱えている課題

検討部会では、令和3年度に、各自治会長及び各地区自治連協議会長を対象としたアンケート調査を実施し、令和5年度には、地域コミュニティ活動の担い手となる子育て世代を対象としたアンケート調査を実施しました。

アンケート結果を踏まえて種々検討した結果、市内の地域コミュニティで抱えている課題として、次のようなことが挙げられました。

① 自治会活動への不参加・認識不足

自治会活動において、イベント等を行っても地域住民の参画が少ないという意見が多くありました。祭りや地蔵盆など昔からの伝統的な行事の実施が難しくなっています。その中で、子どもからお年寄りの方まで誰もが気軽に参加でき、多くの住民に認識してもらえるような活動が求められています。

② つながりの希薄化

コロナ禍を経て、会合やイベントなどの人同士が直接触れ合う機会が減少したことにより、地域社会における人と人とのつながりが希薄化してきています。つながりの希薄化が深刻になると、災害や緊急事態時の迅速な対応が困難になり、地域住民の安全が確保できなくなります。

③ 自治会としての活動が多すぎる

毎月の文書配達やゴミステーションの管理、様々な会議への出席など多岐にわたる活動が役員の仕事となっています。自治会内の人口が減少し、役員のなり手不足が進む中で、関係機関と連携して自治会活動のやり方やその必要性を見直すことが急務となっています。

④ 役員のなり手不足（役員の高齢化）

人口減少が続く中で、役員のなり手不足が深刻化しています。自治会によって役員選出方法は様々ですが、多くの住民が役員の仕事を負担に感じており、何年も同じ人が役員を担わざる負えない自治会も出てきています。

⑤ 会員の減少

宮津市の自治会加入率は75.7%（令和6年4月時点）で、全国平均の71.8%（令和3年時点、総務省）より高いものの、昨今、自治会への加入の必要性を感じられず、自治会に加入しない世帯が増えています。

第3章 めざす地域コミュニティ

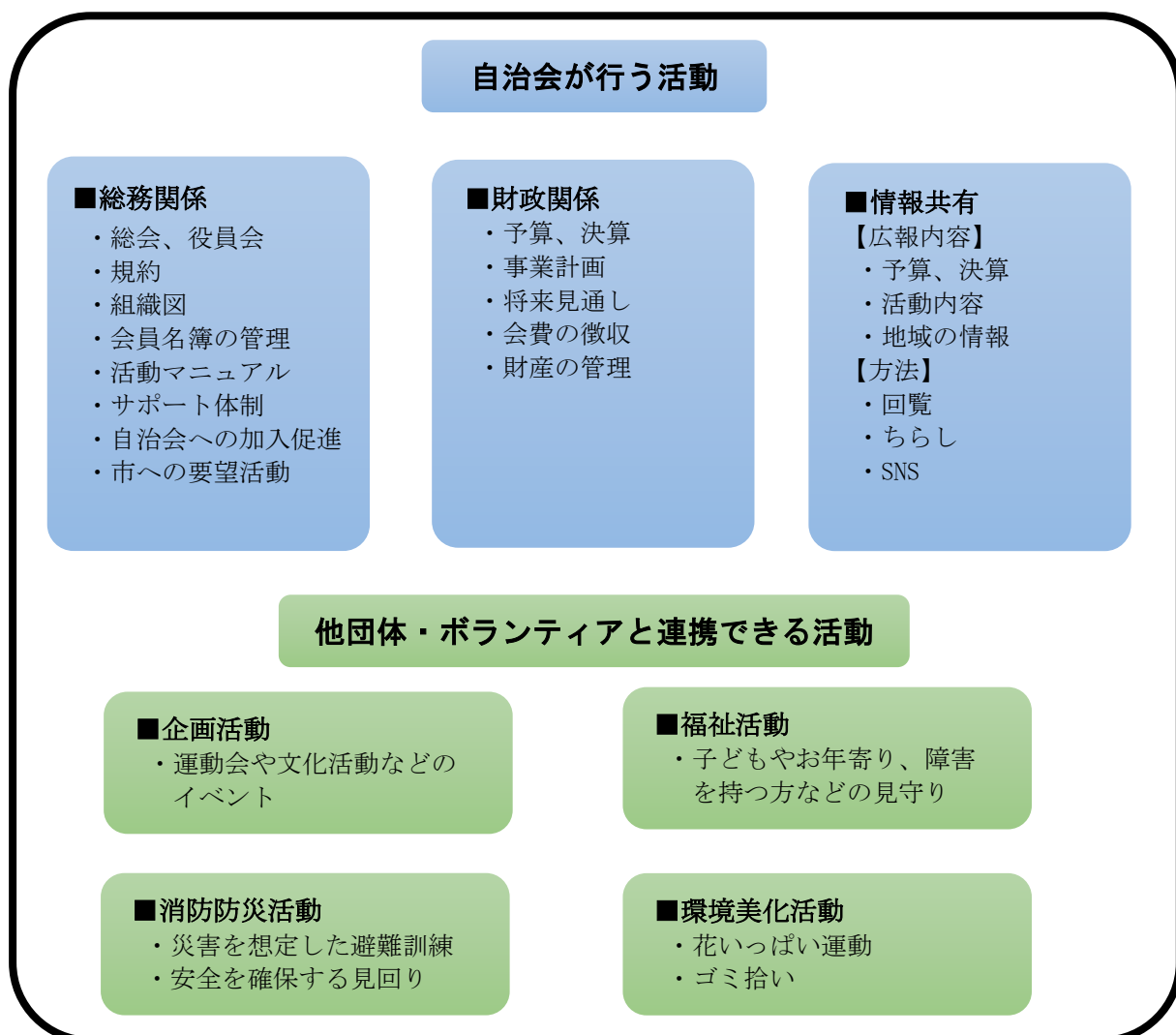
1.自治会の活動

自治会の役割は、「住民同士が協力して住みよいまちをつくっていくこと」です。

そのために自治会は様々な活動を行っていますが、自治会の規模に合わず活動が多すぎて住民の負担になっていることがあります。現在、自治会が主体となり行っている活動でも、内容によっては自治会のみで行わずとも、他の団体やボランティアと連携することでその役割を果たすことができるものがあります。

また、多くの方に自治会活動に参加してもらうには、お茶のみ会やサークルなど、気軽に参加しやすい活動を行うことも大切です。子どもから高齢者まで気軽に参加できる行事等を行うことにより、自治会活動を知るきっかけとなります。

そのモデルとなる自治会活動を示すと次のようになります。



自治会活動を行うにあたって、次の3つのポイントを意識して活動に取り組むことで、自治会の活動全体の底上げが期待できます。

1. お互いに声かけができる関係性をつくっていきましょう

人々が顔を合わせて、お互いを知り合い、一緒に何かをするなど楽しく集まる機会をつくることで、普段から挨拶を交わしたり、顔見知りが増えたり、地域のことをよく知るきっかけになったりと安心できる暮らしに繋がります。

慣習や上下関係で息苦しくならないように、プライバシーを守りながら、負担にならない配慮もしつつ、様々な工夫を重ねながら行うことが大切です。

地域では、気軽に集まれる場として様々なサロン活動も行われており、世代を超えて多くの人が気軽に集まれる場があれば、顔見知りもでき、いろいろな活動に参加しやすくなります。

2. 若い人、女性や移住者の積極的な参加を促していきましょう

若い人たちや女性、移住者など、今まで自治会活動に主体的に参加されてこなかった人たちの参加を求めていくことが必要です。

令和5年度に子育て世代を対象に行ったアンケートでは、「自治会に加入しているが参加できない又は参加しない主な理由は何ですか？」(3つまで)という設問に対して、「仕事等で時間が合わないから」という理由に135名中43名が回答しています(P37参照)。働きながらも誰もが参加できる活動が求められています。

3. みんなが希望をもって地域で暮らせるビジョンを創っていきましょう

地域の様々な人たちが議論をして地域の将来像を定め、地域全体で動いていくことができれば、将来を見据えた充実した活動となり得ます。

上宮津自治連合会では、次世代を担う若い人たちの意向を大切にして、将来の地域ビジョンをつくり、地域全体で様々な活動に取り組むことで、住みよい地域づくりを進めていくこととされています。

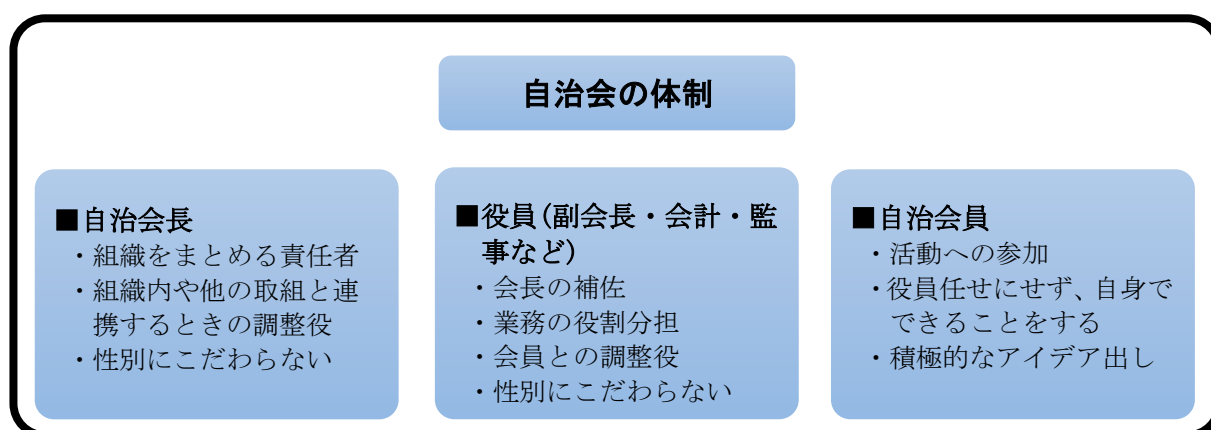


2.自治会の体制

人口減少や少子化・高齢化が進行し、役員のなり手不足や会員の減少などの問題が生じている中で、業務量が役員に集中している状況になっています。

一方で、令和5年度に子育て世代を対象に行ったアンケートでは、多くの人が自治会活動への参加に協力的であり、4人に1人は将来、役員になってもよいと回答しています。役員だけでなく、若い世代を含めた多くの人に自治会活動に関わってもらい、一部の人だけの負担にならないような体制を整えていく必要があります。

自治会の体制をまとめると、次のようになります。



自治会の体制において、1番の課題は「役員のなり手がいない」ことです。以下のポイントを意識して、自治会に関わってくれる人を増やしていく取組を行っていきましょう。

1. 地域の祭りや文化活動など、人々が集まる機会を創り、多くの人が自治会活動に関われる体制を目指しましょう

従来の形式等にとらわれず、幅広い人たちに参加してもらえるように、活動の形式や体制を変えていくことが大切です。実際に、吉津地区や上司自治会の祭りは、地域での話し合いを経て、これまでの伝統的な形式ややり方をできる範囲で変えながら、多くの方が参加できるような体制づくりを行っています。

若い人たち、移住者などに地域課題などを話し合う会議への参画を求めるとともに、参画しやすい環境をともに工夫していきましょう。

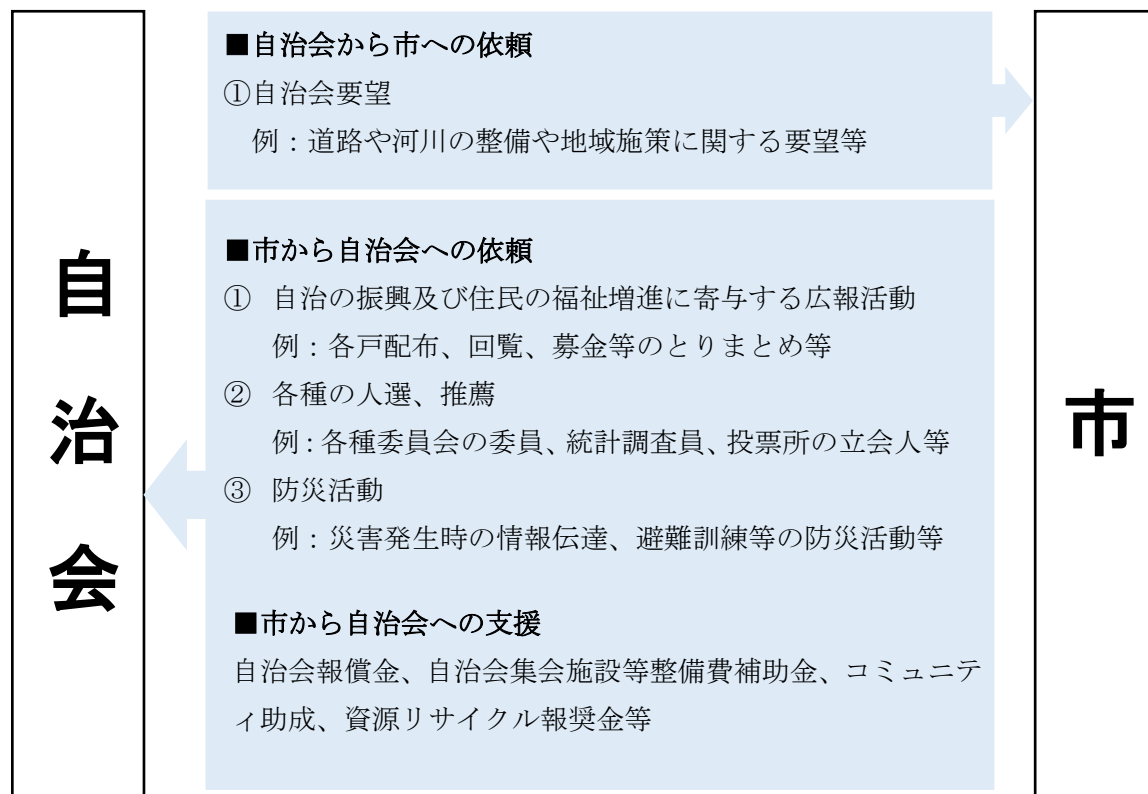
2.自治会の各種情報が全員に伝わるような工夫をしていきましょう

SNS等のIT技術を通じて、情報発信を行える体制にすることで、情報共有に係る負担が減少します。また、若い世代にも情報が届きやすく、自治会活動を知ってもらうきっかけになります。

3. 市とのかわり

持続可能な地域づくりには、自治会と市が力を合わせて、主体的な取組を実現することが大切です。市民と行政が対等の立場で連携し、互いに助け合いながら取り組むことで、持続可能な豊かなまちにつながります。

現在、自治会と市との間での協力事項については、次のようなものがあります。



地域内の課題が多様化している中で、次の2つのポイントを意識することで、より密接な共創体制を築くことができます。

1. お互いを信頼し言いたいことが言える良好な関係を構築していきましょう

円滑なコミュニケーションをとりながら必要とする協力体制を築くためには、お互いが遠慮せずに、言いたいことが言える関係性が必要です。話し合うことで、地域にとって本当に必要なことが何かということが見えてきます。

市には、言いたいことが言い合える積極的な場作りと参加が求められます。

2. 行政に依存しない住民主体の地域づくりを推進していきましょう

自治会は、市からの依頼をするだけの下請け組織ではありません。地域の主役は地域住民自身です。地域で抱えている問題やニーズを自治会の中で共有し、話し合うことによって、課題解決につながります。また、市には、自主的な活動がより促進されるような取組と支援が必要な地域へのサポートが求められます。

付録

単位自治会アンケート（令和３年度実施）

自治会数：100（市街地：41、由良・栗田：19、上宮津・須津以北：40）
 回答数：80（市街地：33、由良・栗田：17、上宮津・須津以北：30）
 回答率：80％（市街地：80％、由良・栗田：89％、上宮津・須津以北：75％）

○自治会長に関すること

Ｑ：自治会長はどのように選出されますか。

選出方法		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
選挙	25	6	10	9
推薦	14	6	2	6
話し合い	12	7	1	4
当番制	7	1	1	5
推薦・立候補	5	2	0	3
立候補	3	2	0	1
当番制・話し合い	3	2	0	1
話し合い・推薦	3	2	1	0
推薦・選挙	2	1	1	0
立候補・推薦・承認	1	0	0	1
立候補・選挙	1	0	1	0
話し合い・選挙	1	1	0	0
その他	3	3	0	0

自治会長の選出方法として、約３割の自治会が「選挙」としている。
 「当番制」の自治会の割合は、市街地の方が低い。

Ｑ：自治会長の任期は何年ですか。

任期		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
１年	56	17	17	22
２年	18	12	0	6
３年	0	0	0	0
規定なし	3	2	0	1
会長の意思	1	1	0	0
在任中（充て職）	1	1	0	0
無回答	1	0	0	1

半数以上の自治会で、任期は「１年」となっており、「３年」はなし。

Ｑ：職業に従事していますか。

職業（今年度）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
自営業	12	6	1	5
勤務者	34	15	8	11
農漁業	9	1	3	5
その他	3	1	0	2
従事していない	22	10	5	7

約７割の自治会長が仕事に従事されている。その割合は、地区による差はほとんどない。

Q：年代についてお答えください。

年代（今年度）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北	職業従事	従事なし
50歳以下	6	3	0	3	6	0
51～60歳	16	6	5	5	16	0
61～65歳	22	7	5	10	17	5
66～70歳	21	6	6	9	11	10
71～75歳	14	10	1	3	7	7
76歳以上	1	1	0	0	1	0

年齢構成は、60歳以下は27%、61～70歳は54%、71歳以上は18%。

また、職業に従事されているのは、60歳以下では100%、61歳以上では62%。

Q：自治会長をされる中で、負担に感じていることは何ですか。（具体的にご記入ください。複数回答可）

負担に感じること		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北	職業従事	従事なし
会合・行事への参加（仕事との両立）	27	11	6	10	23	4
人材不足・役員選出	14	6	2	6	7	7
市等からの依頼	9	5	1	3	7	2
庶務・雑務	8	3	2	3	3	5
自治連活動	4	3	1	0	2	2
緊急時の対応	4	2	0	2	3	1
施設等の管理	3	1	0	2	1	2
会員の活動に対する無関心	3	2	0	1	1	2
責任の重さ	3	0	0	3	3	0
人間関係	2	2	0	0	2	0
パソコンが使えない	2	1	0	1	1	1
資金不足	1	0	0	1	1	0
なし	4	0	1	3	2	2
無回答	12	4	4	4	10	2

「会合・行事への参加」に負担を感じられている自治会長は全体で34%だが、職業に従事している自治会長で見ると40%、従事していない自治会長で見ると7%となる。

年齢の若い自治会長では、地域のことがわからない上、サポートがないとの意見があった。

【近年（5年程）の自治会長の傾向としての質問】

Q：主に自治会長は就任時、職業に従事されていましたか。【複数回答可】

職業（近年）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
自営業	27	13	5	9
勤務者	45	17	13	15
農漁業	13	3	4	6
その他	6	3	0	1
色々	1	0	1	0
従事していない	27	13	4	10

Q：主に自治会長就任時の年代についてお答えください。【複数回答可】

年代（近年）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
50歳以下	8	2	2	4
51～60歳	32	8	9	15
61～65歳	47	20	11	16
66～70歳	41	18	9	14
71～75歳	16	8	2	6
76歳以上	1	0	0	1

○自治会の収支

Q：1世帯当たりの年間の自治会費の額はいくらですか。※額が一律でない場合は、区分ごとの金額をご記入ください。

自治会費	一律	区分あり
なし	3	1
5,000円以下	7	12
10,000円以下	16	20
15,000円以下	11	13
20,000円以下	5	6
25,000円以下	3	8
30,000円以下	3	0
30,001円以上	1	0

Q：上記の設問で、額が一律でない場合、何を基準に差を設けられていますか。

一律でない場合の基準	
間口	2
予算	1
世帯構成	15
居住の有無	9
賛助会員等	3

Q：自治会費とは別に、各世帯に徴収する負担金があれば、その名目、1世帯当たりの年間の負担金額について主なものをご記入ください。

別途負担金	テレビ共聴費	募金	地蔵盆	街灯費	祭礼費・神社費等
	人夫費	借地代等	消防	事業積立	

○自治会活動の取組

Q：今現在、実施している活動は何ですか。【複数回答可】

現在実施している活動		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
回覧板等情報共有	70	30	13	27
環境美化	58	25	13	20
防災	52	19	12	21
お祭り	52	22	12	18
防犯	27	8	7	12
子どもが対象の活動	25	13	5	7
リサイクル	25	12	5	8
福祉	19	8	2	9
健康づくり	12	7	1	4
文化	10	3	2	5
交通安全	6	2	1	3
その他 (納涼祭、新年会、敬老会、地藏盆、森林整備、運動会、地域振興)	8	3	1	4

市街地は他の地区と比べて「防災」「防犯」の割合が若干少なく、「子どもが対象の活動」「健康づくり」の割合が若干多い。

由良・栗田は他の地区と比べて「情報共有」「福祉」の割合が若干少ない。

上宮津・須津以北は他の地区と比べて「環境美化」の割合が若干少なく、「文化」の割合が若干多い。

Q：今後、最も力を入れていきたいのはどのような活動ですか。

今後最も力を入れていきたい活動		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
防災	39	10	12	17
環境美化	37	12	12	13
回覧板等情報共有	22	6	7	9
防犯	16	2	7	7
お祭り	15	6	4	5
福祉	16	7	3	6
リサイクル	8	1	5	2
子どもが対象の活動	7	1	2	4
健康づくり	7	3	1	3
文化	7	2	2	3
交通安全	6	3	1	2
その他 (会員交流活動、休耕田利活用・環境整備、地藏盆、空家問題、何もできない)	5	1	1	3
無回答	8	4	0	4

市街地は、他の地域と比べて全体的に力を入れていきたい活動が少なく、中でも「防犯」は特に少ない。

由良・栗田は全体的に多く、現在実施している活動で少なかった「情報共有」の割合も他地区と比較して多い。

上宮津・須津以北は、全体の割合とほぼ同じ。

Q：活動を全般的に見て、参加者が多いのはどの年代ですか。【複数回答可】

活動参加者の年代		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
10歳代以下	4	3	0	1
20歳代	0	0	0	0
30歳代	4	2	2	0
40歳代	18	10	3	5
50歳代	34	13	9	12
60歳代	62	27	15	20
70歳代以上	52	21	11	20
無回答	3	1	0	2

20代、30代の参加者が多い自治会はほぼない。また、10代の参加が多い自治会では他の年代の参加も多い。市街地は40代の割合も他の地域と比べて多い。

Q：貴自治会の取組の中で、他の自治会に誇れると思う取組があればご記入ください。

誇れる取組		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
祭り等	6	5	0	1
地域のまとまり	5	2	1	2
親睦行事	5	3	1	1
環境美化	4	0	2	2
施設等管理	4	1	1	2
情報共有	3	1	1	1
高齢者支援	2	0	0	2
空家対策	1	0	0	1
取組なし	13	4	4	5
無回答	40	18	9	13

○自治会活動の課題

Q：自治会活動を行う中での課題はどのようなことですか。深刻度合に応じて○を付けてください。※該当しない場合は「1」に○を付けてください。

	全体				
	小	←	深刻度	→	大
	1	2	3	4	5
会員の高齢化	1	3	6	21	49
役員のなり手がいない	3	1	11	21	43
役員の負担が大きい	1	4	20	35	20
会員の減少	3	3	20	25	28
活動への参加者が少ない	3	9	29	25	14
活動が多すぎる	10	11	40	8	9
活動がマンネリ化している	4	10	39	16	10
住民の活動への関心が低い	4	6	38	20	12
自治会運営のための事務が大変	4	7	36	19	12
活動資金の不足	6	12	35	14	13
会員同士の連絡や情報伝達が不十分	9	26	33	7	5
行政からの依頼事項が多い	3	11	32	12	21
その他	0	0	0	1	3
5：少子化、家族間の情報共有、自治連との活動の重複					
4：市の補助金の減					

ほとんどの自治会で、「高齢化」「役員のなり手」の深刻度が大きいですが、それと比較すると活動内容や運営のための事務の深刻度は大きくない。

	市街地				
	小	←	深刻度	→	大
	1	2	3	4	5
会員の高齢化	1	3	3	7	19
役員のなり手がいない	2	0	3	9	18
役員の負担が大きい	1	2	8	18	4
会員の減少	3	2	10	7	10
活動への参加者が少ない	2	4	14	9	4
活動が多すぎる	7	4	16	3	1
活動がマンネリ化している	2	3	19	6	2
住民の活動への関心が低い	2	2	18	7	4
自治会運営のための事務が大変	3	3	17	8	1
活動資金の不足	4	6	15	4	4
会員同士の連絡や情報伝達が不十分	2	12	14	3	2
行政からの依頼事項が多い	2	4	12	6	8
その他	0	0	0	0	1

市街地でも「高齢化」「役員のなり手」の深刻度は大きいですが、他地区と比べると若干その割合が小さい。また、「活動の多さ」の深刻度は特に小さい。

	由良・栗田				
	小	←	深刻度	→	大
	1	2	3	4	5
会員の高齢化	0	0	1	6	10
役員のなり手がいない	1	0	1	6	9
役員の負担が大きい	0	0	5	7	5
会員の減少	0	1	3	11	2
活動への参加者が少ない	0	2	5	9	1
活動が多すぎる	0	2	10	3	2
活動がマンネリ化している	0	1	8	6	2
住民の活動への関心が低い	0	0	6	9	2
自治会運営のための事務が大変	0	1	7	5	4
活動資金の不足	0	3	6	4	4
会員同士の連絡や情報伝達が不十分	0	7	7	2	1
行政からの依頼事項が多い	0	2	9	2	4
その他	0	0	0	0	1

由良・栗田は、全体的に深刻度が大きい。特に「活動がマンネリ化している」「住民の活動への関心が低い」が他地区と比べると大きい。

	上宮津・須津以北				
	小	←	深刻度	→	大
	1	2	3	4	5
会員の高齢化	0	0	2	8	20
役員のなり手がいない	0	1	7	6	16
役員の負担が大きい	0	2	7	10	11
会員の減少	0	0	7	7	16
活動への参加者が少ない	1	3	10	7	9
活動が多すぎる	3	5	14	2	6
活動がマンネリ化している	2	6	12	4	6
住民の活動への関心が低い	2	4	14	4	6
自治会運営のための事務が大変	1	3	12	6	7
活動資金の不足	2	3	14	6	5
会員同士の連絡や情報伝達が不十分	7	7	12	2	2
行政からの依頼事項が多い	1	5	11	4	9
その他	0	0	0	1	1

上宮津・須津以北も「会員の高齢化」「役員のなり手」の深刻度が大きいですが、「会員の高齢化」より「役員のなり手」の深刻度は大きくない。また、「会員同士の連絡」は他地区と比べて特に小さい。

Q：上記の設問の課題の中で、自治会活動の解決に向け過去に改善の取組を検討・実施されたことがあれば、具体的に記入してください。

改善の取組		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
役員選出・体制の見直し	7	4	1	2
隣組の再編等	5	2	1	2
行事の見直し	3	2	0	1
交流・共同作業	3	0	0	3
情報発信	2	1	0	1
会議の見直し	2	1	0	1
会費・支出の見直し	2	0	0	2
作業量の軽減化	1	0	0	1
取組なし	7	4	0	3
無回答	45	18	13	14

由良・栗田以外で改善の取り組みをされたことが多い。改善の取組は、会員や役員のなり手の減少によるところが大きく、後継者育成のため世代間交流をされているところもある。

○自治会加入への取組

Q：加入者を増やす取組として、どのような取組をされていますか。（取組をされていない場合に、特別な理由があればご記入ください。）

加入者を増やす取組		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
加入依頼	11	7	2	2
全世帯加入	12	2	6	4
移住促進	4	1	1	2
リーフレット配付	1	1	0	0
対象者なし	5	0	0	5
その他	6	5	1	0
取組なし	17	8	2	7
無回答	25	10	5	10

取組をされている自治会は約3割。その中で市街地は個別に加入依頼をする自治会が多く、由良・栗田は全世帯加入となっていることが多い。上宮津・須津以北は「そもそも移住者がいない」との意見がありました。

Q：自治会に加入しない（退会する）理由は主に何だと思いますか。

加入しない（退会する）理由		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
役員等の負担	11	5	2	4
必要を感じない	8	6	0	2
関心がない	7	3	1	3
アパート・1人暮らし・高齢	4	2	1	1
一時的な居住	3	2	0	1
地区になじめない	3	0	0	3
自治会への理解不足	2	1	1	0
自治会費	2	1	0	1
転居・死亡	8	3	0	5
なし	10	3	3	4
無回答	27	8	9	10

自治会に加入しない理由は負担が増えることが多数。また退会の理由としては、転居・死亡のみ。

Q：退会者を減らす取組として、どのような取組をされていますか。

退会者を減らす取組		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
行事等への参加	5	2	2	1
信頼関係	3	0	0	3
会費の見直し	1	1	0	0
空家対策	1	1	0	0
取組なし・退会者なし	33	17	5	11
無回答	37	12	10	15

ほとんどの自治会は取組をしていない。取組をされている自治会はいずれも「会員の減少」の深刻度が4以上。

○役員の確保

Q：役員はどのように選出されますか。

役員の選出		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
選挙	18	4	8	6
話し合い	13	7	1	5
当番制	13	5	1	7
話し合い・推薦	10	4	3	3
推薦	9	4	2	3
自治会長等が依頼	3	3	0	0
当番制・推薦	2	0	1	1
推薦・立候補	2	2	0	0
話し合い・選挙	2	1	1	0
当番制・話し合い	2	2	0	0
当番制・話し合い・立候補	1	1	0	0
推薦・選挙	1	0	0	1
話し合い・立候補	1	0	0	1

会長選出と同様、選挙が多数。

Q：役員選出の際、役員が敬遠される最大の理由は何だと思えますか。

役員が敬遠される理由		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
会合・行事への参加（仕事との両立）	30	13	6	11
庶務・雑務	18	8	1	9
人材不足・高齢化	12	4	3	5
会員の活動に対する無関心	7	5	0	2
責任の重さ	4	2	0	2
パソコンが使えない	3	3	0	0
人間関係	1	1	0	0
無回答	17	5	7	5

個人の時間を制限される理由が多い。

Q：役員のなり手を増やす取組として、どのような取組をされていますか。
（取組をされていない場合に、特別な理由があればご記入ください）

役員のなり手を増やす取組		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
役割分担・簡素化・バックアップ	9	3	2	4
依頼・啓発等	6	3	1	2
体制等の見直し	5	1	2	2
若年層を入れる	4	4	0	0
当番制	4	2	0	2
業務内容等の説明	3	1	0	2
役員報酬	2	0	0	2
ブロック制	1	1	0	0
集まりの場を設ける	1	1	0	0
任期の延長	1	1	0	0
組長から選出	1	1	0	0
取組なし	18	7	3	8
無回答	30	10	9	11

役員の負担を減らす取組と、人材育成の取組が多い。

（取組しない理由）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
高齢化・人員不足	6	1	3	2

○組織体制

Q：現行の組織体制・運営について、今後の自治会の維持・存続の問題について当てはまるものに○をしてください。

Q：上記設問で選択された回答について、具体の理由があれば記入してください。

組織体制の維持・存続	問題に直面している	危機感を感じている	まだ先の課題として認識	特に問題として考えていない	無回答
	17	40	11	5	7
高齢化・人材不足・会員の減少	13	30	3	0	－
仕事との両立	0	4	0	0	－
会員の意識	1	0	0	0	－
自治会の機能がない	1	1	0	0	－
資金不足	1	0	0	0	－
人材あり	0	0	3	0	－
会員減少の見込みなし	0	0	0	1	－

回答のあった中で、「問題に直面している」「危機感を感じている」自治会は約8割。その理由として、高齢化・人材不足・会員の減少を理由とされている自治会が多数。

Q：自治会を維持・存続していく上で、組織体制の見直しを検討・実施されたことがあれば、具体的に記入してください。

組織体制の見直し		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
役員体制・任期等	16	6	4	6
組の再編	9	3	3	3
ブロック制	1	1	0	0
役員マニュアル作成	1	1	0	0
若年層の加入	1	0	1	0
団塊世代の再編入	1	0	1	0
組織のあり方検討委員会設置	1	0	0	1
その他	3	1	1	1
なし	8	4	0	4
無回答	41	18	8	15

役員の人数を減らすことや組の再編が多数。

○その他意見

万町は桜山天満神社(7月)本荘神社・恵美須神社(11月)節分祭(2月)と地区内に神社が多く年3回の例祭が今後の負担になると考えられる。それらの社の維持管理の経費の問題は重要である

・会長等の役員の選出の方法 ・活動費用が十分にあるのか(ない場合の拠出方法)

自治会費の徴収の不可についての質問 ・土地(更地)だけ保有→住所は別 ・無人の土地と家屋→宮津市以外に居住 ・畑、駐車場等※自治会として40%程度徴収

自治会活動の衰退は高齢化、少子化にあると思う。個人的には、他地区で生活する子供世代も取り込んだ活動をすることでその世代の方々とコミュニティとしての意識を共有できればと考える。自治会単位はあくまで基盤。広い交流が求められるのでは

自治会長の選出は各組長の中から選考委員を選出し候補者を選ぶ。自治会長が決定しても副会長、庶務会計は会長の委嘱によるもので、その選出が難しいと考える。受諾を避けられる要因の一つ。多忙な中間層が進んで自治会長を買って出る事は皆無と思う

次の自治会長候補者を副会長にしている

他の自治会の会長、役員選出方法・規約内容・イベント等の取組み

高齢化率が高く単位自治会としての機能を非常に危惧している。自治会運営に若年層の意識が低い。現状維持型人間が多く改革に後ろ向きである。

自治会内の会員結束の源泉として何がありますか？

老朽化した社宅の修繕にお金をかけられず退去待ちの状態。城東タウンの入居要件を緩和してもらい従業員アパートに出来れば自治会を解散したい。

・回覧、配布物が多い(行政に直接関わるもの、そうでないものの仕分けを) ・ゴミ問題に関し未入会者に分別の徹底不足が多く見受けられる(未入会でもゴミを捨てるなどと言にくい)市も転居時自治会入会、ゴミ分別の推進を

・空家世帯の自治会費はどうしているのか ・ゴミ集積所の管理を含む環境美化は、どの様に維持しているか。担当者は週3回、1年間の管理が大きな負担 ・ゴミの戸別収集は出来ないか。運ぶのが困難な高齢者の為。夜の収集だとカラスの害も避けられる

当地区においては、小田・喜多・今福で構成する上宮津自治会が存在する為単独自治会の負担が少ない。活動もこの自治会が主。区長、自治会長合同会議で全て運営。情報交換、伝達は行き届いている

法人化について

高齢化に伴う自治会費の減少で支出の見直し対策

歴史ある自治会を区民といかに安心して暮らせるかを考える中、自治連という上から目線の任意団体と地縁団体当自治会を同時期にこなすとなると働きながらの自分は自治会活動が第一であり自治会運営が全てである。自治連はいらない！

このアンケートが、どのように活かされているのか疑問

・自治会役員はボランティアと考えて手当は低くしている・高齢者(年金生活者が多い)のため自治会費も低くしている。そのため役員報酬も低くせざるを得ない。他の自治会の現状はどうか？

地区自治連協議会のあり方、運営に問題有り

このようなアンケートを取るのとはとても良いことだと思うが、その結果を受けて改善する予定がありますか？そうであればもっと建設的な意見も出てくるのでは。改善の意思を出してアンケートを取って下さい。

市に負担をかけないように自治会全体で、だんご川の浚渫や災害時の土のう積み等実施してきたが、高齢化により自助・共助が保てない状況を心配している

祭礼行事の(土)(日)への移行。平日は出席者が少ない。当地区は年3回の祭礼があり、(土)(日)への変更を何度か検討したが、なかなか賛成が得られない

地域活性化の取組・役員づくり・担い手育成・高齢化対策等

集落の中心部に空家が増加し建物周辺の耕作地も荒れ、有害鳥獣被害が増加。空家(地区外在住者)及び周辺耕作地の有害鳥獣被害防止対策をされているのか？自治会としてしているのか？実家の周辺の防止対策を個人でしているが限界

社会的に女性の活躍が期待される中で自治会等の役員には女性が非常に少ないと感じる。女性も参画しながら、地域づくりや問題解決に向け、女性が参画しやすい在り方も課題であると思う。

自治会長の負担が多すぎる・配布物は月1回にし全戸配布は(本当に必要なもののみ)無くし回覧にする・太い冊子やきれいな紙を使用しているものを全てをなくし簡素にする・もっと税金を減らす・市役所からの呼びかけの原発の話、風力発電の話のような形を見直す(自由参加に)・アンケートではなく生の声を聞いて今後を考える姿勢に変えて下さい

回覧板など最低限の仕事量にしてほしい

他地区・組織の会議が始まる時間は工作中
夜の会合がある場合、仕事を休まなければならない
社協、中部支会の行事・宮津祭
営業時間内の行事又は会議・サービス業の為、日曜、祝日の行事参加
会合への出席(勤務時間帯は出席しづらい)
・毎月2回の広報配布 ・全てが会長に集中(会計は別)
対外的な会合等が多い
勤務時間を調整しなければならない
人数が少ない(“人材”のピースが欠ける)
会長による会員への浄財の集金
会館の管理・地区内の美化
自治連の用務が多い。配布物多量
人間関係の構築(多様性)
会議等で時間が制約される
24時間勤務の職場で地域の要望などに即時対応できない。支援の約束があった組長からの支援が全くない。次期会長選出。民生委員選出。若いので地域のことが分からない
役員選出が困難・一人の負担が多
自治会の行事に参加者が少ない
自治連活動に意義を感じられない、又、他の自治会との一体感もない
プライベートの時間が取られること
他自治会と性格が異なるので自治連加入に戸惑う
自治会活動に無関心な会員が多くなってきている
次期会長選出が困難・会員の高齢化・ゴミ出しルールが守られない
気を遣う
P Cができない
会議が多い
文書配布・緊急時の対応(昼間は仕事で不在の為)
要望等(市役所)進まない・行事・自治連などの役
世帯人員が少なく日々の生活に追われる中での役員受諾は更なる負担の増加。非常に厳しい。月に2回の広報その他の回覧と配布。1回に出来ないか？自治連での役割二重の負担
会員からの要望・役員、組長への指示・上部組織等からの事務の流れ、年間予定が不明。何が起きるか不安
特になし
会員(戸数)の減少と自治会活動の維持・要防災対策箇所の未実施状態が不安
行事、会議が多い
自治会役員のなり手がいない(依頼しても全て断られる)高齢化で活動への関心がない。会員の減少による運営費の不足(2～3年後)住民の事情により自治会費の値上げが難しい
勤務しているため、平日休みを取り自治会業務を実施すること
自治会長の高齢化が進んでいるうえに自治会役員が年長者で構成されている

負担に感じること

会社勤めをしながらなので負担を感じる
出勤回数が多い
地区集会・役員会・各行事の準備
地区の作業(掃除等)への参加依頼(高齢の為)
苦情処理活動 役員のマネジメント
特になし
自治会役員は区民による選挙選出なので納得しているが、由良自治連合会というわけのわからない組織への参加が負担になっている
各組織、会合に参加しなくてはならず、自治会の職務や雑務が多すぎる
地区内における異論な出来事の解決
平日の用事なども多く有休で都合をつけているが、足りない
この様なアンケートを書くこと
後継者不足・会員不足・仕事に従事しての役員はやりにくい
責任の重さ、特に有事の際の対応
従来より自治会長が実質会計及び厚生衛生業務に携わり運営してきている経緯があり、自治会長が病気等休養になれば機能化しにくい弱さがある。
特になし
・P Cに不慣れ。新しく購入しなければならない・役職が集中する。通常は勤務者ではできない。行事、個人の揉め事全てに参加しなければならないこと。
会合日数が多いこと
仕事量が多い
会社員の為、平日の行事・会議への出席又、平日夜の会議(残業の場合がある)
自治会行事等での、欠勤、早退が多いこと
役員づくり・担い手育成
会議が平日の日中にある場合の時間調整
自治会管理(建物、土地等)・維持、草刈り等環境整備・空家、耕作放棄地の増加・放置竹林・有害鳥獣の増加
なし
勤務時は平日の会議が負担。退職後は会議、事務の多さ
仕事が思うようにできない
理事会の運営(会議、報告書作成)要望書等対応(市、土木事務所等)自治領からの要望・月2回の配布物・行事の運営計画・自治連、市などの会議等忙しすぎる
責任
交代できる人員がいない
責任感
人口減少による人手不足、高齢化により担い手がない
付帯職が多い
仕事をしながら役をすること(残業があるので集まりに出席できない)

・回覧板等情報共有・リサイクル
お祭り
さなぶり行事
ふれあい行事を長年継続実施している(昨年はコロナ禍で中止)
環境美化
宮津祭 漁師町浮太鼓巡行 幼稚園児から高齢者で一体実施
区民の互助協力関係
区民全員参加の清掃(奈具神社。金毘羅神社・岩穴稻荷神社等)脇地区財産の維持管理を守り続けている
空家対策 誇れるほどではないが倒壊の恐れがある空家の処理費用を自治会で対応した
敬老会と親睦会(1軒から2名参加)と合催。自治会全員で敬老を祝う。盆前の墓道掃除。地区外からの参加あり(8月第一日曜に固定)
高齢者緊急連絡台帳の作成(65歳以上・独居)→民生委員と共有・草刈り等のボランティアチームがあること(自治会活動の不足をカバー)
高齢者同士の仲が良い(同世代が多い)
最終処分場の維持管理
祭(1地区で神楽、太鼓、神輿と三つの出し物を行っている)
祭り、納涼祭等の自治会交流行事
子ども会活動が活発
市道沿いの水路(消防用水路、生活用水、農業用水)の維持管理
自治会要望(対行政)・高齢者支援活動
世帯数が多い割にまとまりが強い
地域に根付いた伝統芸能の継承・取組み活動
納涼大会、バス遠足等の親睦行事を毎年行っている
文化財の保存
毎月、自治会ニュースを発行・回覧板配布
目的と参加意識・責任感
國名賀神社祭礼

課題改善の取組

隣組の合併の話し合いが成立せず先送りになっている。高齢で組長のなり手がない組が出てきている
以前は会長が次期会長を選任できるまで辞められず負担が大きかったので、R元年に役員選出要綱を制定した
ふれあい行事の開催日を変更(夏休み前に) 数年前から新年会を開催(コロナ禍により実績は1回のみ)
形骸化、慣例化した行事を見直す
役員選出の規約がない為、選出の規約を作成した
隣組枠組みの再編(空洞世帯の増加による)
不明
情報の発信
会議を減らした
役員選出、役割分担についての検討委員会
以前会長が決まらなかったりしたので10年前から各組から役員候補者を選出し、その中で3役を決める
住民へのメール一斉送信・ライン、SNSでの地域情報の発信
H29年度に会費を減額改正(祭り経費削減等)
集金常会の開催を毎月一回から奇数月及び4月開催にした
2～3年後の運営費不足への対応→支出項目の見直し案を作成→今期、住民の可否を問う・役員の選任方法を検討し、今期中に具体案を作成する。→来期の承認を目指す。
自治会員数の減少により、隣組の再編に取り組んでいる
役員を6名から5名に減らした
長年空き家状態の家屋の解体
由良自治連合会は必要ない
15年程前、地藏盆が子供会でできないので自治会も一緒に夏祭りをした事がある。今はないが、新住宅が建ち新旧住民の交流が必要と考える。最低限の人間関係がないと災害時の安否確認もできないから本来なら各戸へ依頼し協力を得る社会福祉協議会普通会費、歳末たすけあい募金、赤十字協同募金、赤い羽根共同募金等、総会で承認を得て、自治会費に上乗せし一括払いとした。
行政が丸投げしすぎである。実態を把握していない。 改善の取組みはなし。すべて前年通り
自治会の法人化を検討中・自衛消防から自主消防会への変更
後継者を育成するため、世代間交流
会長など役員選出は選挙であったが、会員も少なくなり勤務者にも配慮できるようほぼ5人の輪番制とした・自治会管理地の草刈りなど環境維持軽減の為舗装化した
・隣組の再編・規約(自治会)の見直し ・老人会との共同作業
役員の削減
わかりません

加入者を増やす取組

間借り人の入会は困難。大家が会費負担
転入者等自治会長がお願いに行く
アパートが数棟あるので、その住人は入会されていない方が多い
基本的に、強制加入ではないので、個人の判断に委ねている。
特別な取組みはしていないが、若者が地区に居住したいような環境づくりは行いたい
全世帯加入
転入者に対して自治会活動を説明し、理解と協力をお願いしている
役員(三役)による未加入者への訪問加入依頼行動
特に取組みはしていない
取組無し
入居者があれば、役員が出向き自治会活動を説明し加入を促す
リーフレットのポスティング・隣組長からの加入依頼
転入者があった場合は、組長から入会の声かけをする
社宅老朽化の為新規入居は不可
新規入居者に対し、組長が積極的に入会案内をしている
世帯数が固定 独居世帯の増
転入者全員に自治会に加入してもらう
未加入ほとんどない
上宮津地域会議として、移住促進活動の取組みを行っている
移住者の受け入れ
未加入は一世帯だけで特に問題はない
全世帯が加入している
全戸加入
空き家等家屋の斡旋紹介
現段階における自治会の負担をどうすれば職減できるか考えている
現自治会役員が各戸にお願いする
基本的に在住者は自治会に加入してもらっている
特別な取組ではないが、新規の方にも加入してもらっている。自治会の現状の説明はしている
していない
特別な場合を除いて原則加入
国定公園法の縛りで加入者が増えない
住民は半強制的に加入となる。加入しないとゴミが捨てられない。
個別訪問
地区に住所を移したことで自治会員になっていただく
基本的には住民になったら必ず入会依頼実施
加入対象者がいない
人口の減少 過疎化が激しく無理
高齢化
新しい方が入ってきていない

加入しない（退会する）理由

自治会組織の理解不足
他人に関わりたくない
独居老人の死亡等
他地区から仕事の為にマンション等を借りて生活する方
アパートの一人暮らし又は高齢のため
加入した場合の特典(魅力)がない 加入しなくても特に不便を感じない
自治会員役員
アパート、共同住宅の入居者以外では、未加入なし
あまり必要を感じないとの回答が多い
退会者なし
他人に干渉しない・ゴミ出しくらいしか入会理由がない
アパート住まいの単身赴任者や高齢者の為、自治会活動に関心がない
高齢化による親族宅等への転居による退会
自治会の役員が回ってくるため
単身赴任者であること・短期間の居住であること
・メリットがない ・加入しなくても不都合なことがない
近隣住民との関係、自治会での事業活動を気にしなければ入会しなくても行政サービスを受けられる。メリットがない
役に就きたくない・取り組みに参加したくない
めんどくさそう
高齢化 自治会費の負担
転居
メリットよりデメリットが多いと言われた事がある。
役員になりたくない
これまで未加入、退会者なし
加入のメリット・費用対効果・高額自治会費
独居者の介護施設等への転居に際して退会（区費は親族が負担）
退会者なし。死亡による退会のみ
入会していても生活に不便はない・自治会活動に関心がない・自治会役員になりたくない・隣組の中で問題がある
新規の方で未加入なし
未加入なし
自分だけよければいいという個人的問題
高齢で独居となり、自治会に参加しにくい
50代現在、自分が会社勤めをしながらの自治会の仕事は大変である
行事に出るのが面倒
近所との付き合いを嫌う人たちが増えているように思う
集合住宅居住者の地域繋がりが少なく、自治会加入を望んでいない
役員が回ってくるから
わからない
退会者なし
自治会活動に参加したくない
地元の古いしきたりに馴染めない
常住していないから・宮津市民でないから
転居
転居 死亡
自治会行事に参加できない
地元の方でなく、馴染めなかったり仕事が多すぎるから
入会しない方が負担がない
死亡
村の中での考えの違い

役員が敬遠される理由

仕事との両立・現在は名誉職ではない
やる事が多く、何かあった時責任を負わされる
仕事がある為
自分の仕事が忙しい
過去に民生委員決定に関して難航した事がある
誰かがやってくれるとの思いが強い→あえて自分がしなくてもの意識が強い
祭典の準備等及び対外的な会合の多さ
役員としての仕事が多い。現役世代だと両立は困難
自治会業務と仕事との両立が多忙だと考えられる
苦労はしたくない
面倒くさいと思う人が多いのでは
在職中の為
用務が多すぎる(行政がらみ、割合)
雑用が多い
仕事の内容が不明確で不安・自分の事で精一杯・能力不足・人材不足
無関心
組長の女性比率が高く、役員に手を挙げない・高齢化
・いろいろな事を相談される・P C投入は必須の為
私の在任中は敬遠された事例はない
自治会活動に無関心(関心があっても誰かがやるだろうと責任感の希薄)
本業以外の任務が増える・近所との付き合いが希薄な中で自治会の仕事はやりにくい
めんどくさそう・自己中心主義
行事の準備・手配責任
高齢の方はP Cが扱えない。会議に出席困難な方あり。
高齢化
拘束時間責任
単身世帯、核家族、高齢者のみの世帯等、様々な世帯構成の中で自身の生活維持で精一杯。役を受けるゆとりなし
P Cに不慣れ・仕事の事情・能力不足
慣れない仕事・人前でのスピーチ
背中に荷物を背負いたくないとする気持ちの問題。今に始まった問題ではなく半世紀前からの避けることのできない問題
行事等、仕切らなければならない為、時間を割かれる
役員の仕事が負担・地域の役も付いてくる・住民の協力が無い
一定の役職を確保するため、同人が何役も兼ねること
今後は高齢化・自治会員の減少に伴い役員対象者が激減する
有職者が多いので忙しい
仕事が増す
個人の時間を制限される

役員が敬遠される理由

数年にわたり、同じ人員で回している状態
年齢が若すぎる・現在60歳は現役働き世代で忙しい(隠居生活者ではない)
自分の仕事と両立して自治会の仕事は大変だ
時間的に無理である
年間を通して行事等で時間の拘束がある。仕事を持っていると自治会の作業等で支障が出る
活動に対する負担
住民の為に仕事をする。住民に対し責任を持たなければならないこと。
日常生活への制限が付加されたり、事務的な活動（会議や事務処理）があるため
事務・活動共に面倒くさい
(私の場合)定年になって、自分の趣味を生かす生活をしようと思っていたがそれができない
会合等が多い
業務量。会長になるまでに段階的に最低3年連続で役員に従事しなければならない。会長の負担を軽減する事を試みたが難しい。
勤務者の為
役員負担の増加
多忙、仕事との両立の難しさ
仕事との両立
会社員であれば簡単に休めないから
同じ人が何回も選出される
思うように仕事が出来なくなる
忙しすぎる
人がいないので、同じ人が繰り返しならなければいけない
敬遠するにもできない
責任感
人口が少なく担い手が限られているため
付帯職 日中の活動
高齢化によりできない

役員のなり手を増やす取組

役員に若年層を任命し慣れさせる・年齢順で会長になるよう推測させる・会員の全員が受ければ輪番が可能
役務の分担化、簡素化
役員の年齢が下がってくると有職者ばかりで受け手が少ない依頼するしかない
ブロック制を決めたが、実情とは異なる。結局やってくれそうな人を口説き落とすしか手がない
会長のなり手が無く同じ人が複数回務めている。役員はスムーズに決まる
今後の取組として、役員相互の話し合いで仕事を分担し負担を軽減する
日頃より若年層の人たちを自治会組織(青年会、こども会、保存会等)に進んで入会させる
“啓発”活動を通して引き上げるが、やはりスキルが必要
今後の自治会活動のあり方について、有志で集まり話し合いの場を設けるようにした
隣組数の統合 10組を3組に統合するべく協議中(役員の選出)
規約改正・再任可能にして任期を増やす・今年度改正予定・業務内容を説明する・名前だけの選出を禁止
組長の中から一部の役員を選出してもらう(過去にはあったが今はしていない)
男性が在職中に役員を経験すれば引き受けてはあるかも。現状は難しい
自治会長の選出以外特に問題はない
特にない 特定の人が長くやるより皆が地域の一員として順に担うべきと思う
会長に比べ責任度合いの低い副会長等に未経験者等を選任し、養成をする
役員の仕事が減らし本部の仕事を増やしている
当番制にして有無を言わず役を回している。順番が早く回ってこないよう役を兼務する事も
力強い補佐(前役員のバックアップ)・業務の簡素化・会議資料の共有
自治会活動への協力・参加について地道に働き続けたい。適切な時期に適切な人材が現れるものと達観している。
周囲の協力体制の強化
運営方法や行事の見直しを図り、役員の負担を軽減することで誰でも無理なく運営できる自治会にしていきたい
世帯数が少なく、高齢と相まって改善手段が見えない
役職・定数の見直し
家族の負担を減らしていきたい
お願いと説得
人員不足のため取組みできない
1年間の活動を分析して現職役員への負担軽減を常に考えている
行事等について、特に日時の見直し
高齢者地区のため役員増員は不可能。近年は3～4人で回している状態。数回役員を経験している。
各団体の活動への参加の呼びかけを通して繋がりを深めてもらい、活動を理解してもらう
次は「あなた」と気持ちの準備をさせる
現状、何とかなっている
老後の仕事として、それなりに手当を出す事が必要
なし 数年先まで順番制で決められている
役員報酬を全役員に
数年前から声掛けを行い、条件づくりを行う
役員同士の協力・行事の簡素化
役員 例えば組を減らす、組長を減らす・5人の輪番制で補う
個数制限7戸で高齢化でどうしようもない
一人でも住人が増えないと話にならない

組織体制の見直し

会長の再任の検討・女性自治会長
自治会運営と祭りを切り離して分担
ブロック制の採用(実質は機能していないが…)
体制はともかく、役員の仕事の範囲、心構え、内容等を具体的に文書化して、自ら責任を持って動くように今後する必要があると思う。(固まった人の考えを変えるのは難しい)
改正に関して各組長が協力的でなく明確な返答がない・関わりたくない様子である
組組織の適正化の検討を行っているが、無関心、また危機感不足
隣組の数を半減した。本部役員の数も減らしたいが一人の負担が増えるので踏み切れない
選挙で当選し任期は一年だがその後3年は選出されない決まりを2年に変更を検討中
役職の見直し(縮小)
任期が一年なので、任期が終われば…と思っているのではないか
・社宅の住人の減少があった時、組の数を減らした ・活動の縮小(敬老会中止等)により婦人役
住民の高齢化で自治会の仕事が無理な方が増えた為、シンプルな組織体制に変更した
隣組(3組)を2組に統合する案が浮上している
隣組の見直し・再編及び組織体制(役員数)の見直し
過去に高齢化少数化の為合併をしようとしたが否決された
自治会役員の高齢化
役員の数及び業務(行事)削減を検討中
若者の加入検討
団塊世代をいかに再編入するかを考えている(60歳代は現役世代)70歳以上の方々が中心の自治会運
役員人数の見直し
役員を減らした(過去6人現在3人)地区行事は全員参加(内容により調整はしている)
須津自治会長が吉津地区自治協議会長を兼務していたが、昨年度会長を別々に置いた
組の再編
今はない
一定の年齢層で2回目の自治会長をしている
村組織(組)の統合
会長、副会長、会計、区会議員5名 この区会議員を組長にした
・組、組長を減らす ・5人の輪番制で補う
自治会組織の在り方検討委員会の設置
今年度、役員の削減等少し話をしたが、引き続き話を継続していく必要がある
なし。どうしていいのかわからない
このままでは消滅するでしょう
役員を減らす

地区自治連合会アンケート（令和３年度）

地区自治連合会数：14

回答数：11

回答率：79%

○地区自治連合協議会長に関すること

Q：職業に従事していますか。

職業（今年度）		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
自営業	3	1	0	2
勤務者	4	3	1	0
農漁業	2	0	1	1
その他	0	0	0	0
従事していない	2	0	0	2

Q：地区自治連合協議会長はどのように選出されますか。

選出方法		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
当番制	4	3	0	1
推薦	2	0	1	1
話し合い	2	1	0	1
選挙	1	0	1	0
選考委員が決定	1	0	0	1
会則による	1	0	0	1
依頼	1	0	0	1

Q：地区自治連合協議会長の任期は何年ですか。

任期		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
1年	7	4	1	2
2年	3	0	1	2
3年	1	0	0	1

Q：地区自治連合協議会長をされる中で、負担に感じていることは何ですか。（具体的にご記入ください。複数回答可）

負担に感じること		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
会合・行事への参加（仕事との両立）	4	3	0	1
総意の取りまとめ・意思疎通	3	0	0	3
役職の増加	1	0	0	1
責任の重さ	1	0	0	1
なし	1	0	1	0

○地区自治連合協議会の収支

Q：貴協議会の構成自治会に負担金を求めている場合、負担金の額はどのように決まっていますか。

負担金の決め方	
1万円/年を徴収。定例会の開催費用に充当。	
毎月第3金曜日に「各自治会長会議」を開催し、負担金の徴収を含め具体的協議を行い推進しているので問題はないと思われる。	
公民館補助分担金、体育協会補助分担金、上宮津消防団補助分担金、業務費分担金を6自治会で「一律負担（30%）及び戸数割負担（70%）」を出し合う。（令和2年度に負担割合を変更「一律10%、戸数割90%」）	
一世帯1,500円ほど	
各単位自治会の戸数割	
負担金は求めている。なお社協世屋友会は構成自治会に負担金（会費）あり。	
負担金、団体補助金、事務費、コピー機リース代、報酬等を2期で均等割りとして徴収している。令和元年は1戸当たり年額5,300円となっている。敬老会割は別途1戸当たり1,000円以内。	

○地区自治連合協議会活動の取組

Q：今現在、実施している活動は何ですか。（複数回答可）

現在実施している活動		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
回覧板等情報共有	7	2	1	4
環境美化	6	1	1	4
福祉	6	2	1	3
防災	5	1	1	3
文化	4	1	1	2
健康づくり	3	0	1	2
交通安全	3	0	1	2
お祭り	2	0	1	1
防犯	2	0	1	1
子どもが対象の活動	2	0	1	1
リサイクル	2	0	1	1
その他	4	1	0	3
西部自治連ニュース（年4回程度）を配付し、教宣活動の強化を図っている。				
地域の活性化				
地区公民館事業との連携（地区運動会）、有害鳥獣処理施設悪臭問題。				
市、府への要望活動、敬老会を主とし、共催として公民館行事に協力している。				

Q：今後、最も力を入れていきたいのはどのような活動ですか。

今後最も力を入れていきたい活動		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
福祉	6	2	1	3
防災	5	1	0	4
環境美化	4	0	1	3
回覧板等情報共有	4	1	0	3
お祭り	2	1	0	1
健康づくり	2	0	0	2
文化	2	0	0	2
防犯	1	0	0	1
リサイクル	1	0	0	1
子どもが対象の活動	1	0	0	1
交通安全	1	0	0	1
その他	2	1	0	1
西部会員が一同に集まれるような催しの推進（さくらまつり他）地域の活性化				

Q：活動を全般的に見て、参加者が多いのはどの年代ですか。（複数回答可）

活動参加者の年代		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
10歳代以下	0	0	0	0
20歳代	0	0	0	0
30歳代	0	0	0	0
40歳代	2	0	0	2
50歳代	2	0	0	2
60歳代	9	4	1	4
70歳代以上	9	4	1	4

Q：貴協議会の取組の中で、他の協議会に誇れると思う取組があればご記入ください。

誇れる取組
定例会の開催により、自治会長間の連携が強い。
西部さくらまつりの開催。毎月1回西部自治会長会議における推進事項への意見交換。
大手川一斉清掃、共催による駅伝大会・敬老会（5自治会）・運動会の実施等
府中をよくする地域会議を各自治会から選出された推進委員中心に体制を変えたこと。かなり長い間途絶えていた府中地区大運動会を平成25年度から必ず実施していること。地域会議を通して府中地区を国の重要文化的景観に認定してもらったこと。府中地区を府の移住定住の特定地域にもらったこと
福祉施設（高齢者）との連携、高齢者対策（見守り活動、サロン、支援活動等）
地区運動会。5つの自治会から世屋地区公民館体育館に集い行う。
協議会が直接関わっていることではないが6次産業として加工グループの活動

○地区自治連合協議会活動の課題

Q：貴協議会活動を行う中での課題はどのようなことですか。深刻度合に応じて○を付けてください。※該当しない場合は「1」に○を付けてください。

	全体				
	小	← 深刻度 →			大
	1	2	3	4	5
会員の高齢化	0	1	0	5	5
役員のなり手がいない	0	2	1	2	6
役員の負担が大きい	0	1	1	6	3
会員の減少	1	0	2	5	3
活動への参加者が少ない	0	1	3	6	1
活動が多すぎる	1	4	4	1	1
活動がマンネリ化している	0	2	4	4	1
住民の活動への関心が低い	0	0	4	7	0
協議会運営運営のための事務が大変	0	5	4	2	0
活動資金の不足	1	2	3	2	2
自治会同士の連絡や情報伝達が不十分	1	4	3	3	0
行政からの依頼事項が多い	0	3	4	4	0
その他	0	0	0	0	2
宮津市行財政健全化計画に伴う地元負担の増加。 公共施設再編、診療所閉鎖など。日置自治連との協議。					

Q：上記の設問の課題の中で、協議会活動の解決に向け過去に改善の取組を検討・実施されたことがあれば、具体的に記入してください。

改善の取組	
	公民館活動がグラウンドゴルフ一辺倒だったため、今年度見直している。老若男女が参加できる活動を模索している（今年度は天橋立ウォークを企画中）
	①決算書内の負担金の軽減化（令和2年、各団体への補助金の縮減） ②敬老会については、一自治会で単独実施に変更。より多くの参加があるとの判断による。
	役員のなり手がいない。由良自治連では規約等を改変した。
	会議の統廃合、縮小
	各自治会役員相互の交流会、親睦会。自治連幹事会の定例化、課題に応じた研修会。
	路線バス廃止に伴う足の確保について取組。しおぎり荘閉鎖に伴う地方働き場所確保について取組。有害鳥獣処理施設悪臭改善について取組。除雪への支援。

○活動に消極的な自治会への参加を促す取組

Q：貴協議会活動の中で、参加に消極的な自治会に対し、参加を促すような取組を検討・実施されたことがあれば、具体的に記入してください。

参加を促す取組	
	2か月に1回定例会を開催し、情報共有している。
	特になし。日頃から6自治会役員会を定期的に行い、意思疎通を図っている。
	府中地区8自治会が連合自治会活動に参加している。
	徹底した情報の共有化。自治連役員ラインの設定。
	足の確保、送迎、参加者の多い自治会に出かけて取り組む。

○役員の確保

Q：役員はどのように選出されますか。

役員の選出		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
話し合い	5	2	0	3
当番制	4	2	1	1
推薦・承認	1	0	1	0
話し合い・立候補	1	0	0	1

Q：役員選出の際、役員が敬遠される最大の理由は何だと思えますか。

役員が敬遠される理由		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
会合・行事への参加 (仕事との両立)	5	2	1	2
人間関係・活動に対する拒否	3	1	1	1
庶務・雑務	2	1	0	1
責任の重さ	2	1	0	1
地域で解決できない問題の多さ	1	0	0	1

Q：役員のなり手を増やす取組として、どのような取組をされていますか。
(取組をされていない場合に、特別な理由があればご記入ください。)

役員のなり手を増やす取組	
会長が当番制、役員は社協役員と重ならないよう話し合いで決めている。	
人間関係の構築努力	
多くの単位自治会では懸案事項であることは、自治連合会として承知している。	
推薦後辞すことはできない。	
連合会長としてはできる限り前自治会長をバックアップすべく取り組むようにしている。 わからないことはできる限り親切に教えたり、伝えるように心がけている。毎年自治会要望を提出しているが、現地視察についても全自治会をまわり各地区の課題を頭の中に入れるようにしている。	
選考委員会による役員づくり	
現実役員をやられている方は兼任が多い。例えば市福祉や民生など。同じ目的、課題を解決するのに、各課ごとに新しい役職を作りすぎ。	
声かけ	

○地区自治連合協議会の組織体制等について

Q：現行の組織体制・運営について、今後の協議会の維持・存続の問題について当てはまるものに○を付けてください。

Q：上記設問で選択された回答について、具体の理由があれば記入してください。

組織体制の維持・存続		市街地	由良・栗田	上宮津・須津以北
問題に直面している	2	1	0	1
危機感を感じている	7	2	2	3
まだ先の課題として認識	1	1	0	0
特に問題として考えていない	0	0	0	0
理由				
自治会長選出に各自治会とも苦勞されており、勤務者が会長となる場合が多い。自治会の活動に加えて自治連合協議会の活動は大変である。				
行事に対する高齢化に伴い動員力がさらに悪くなってきた。				
自治連としての活動があまりない。				
加入戸数の減少とそれに伴う予算額の減少。負担金の軽減を行うため、自治連合会を退会して独自に活動したいとする単位自治会も生じている。				
個人的な理由が最優先されすぎ、断った人得になっている。				
連合自治会長と事務局の後継者のなり手がほとんどいない（会長の選任の困難・事務局も同様）				
地域課題を正面にすえた組織運営・活動ができにくい。（役員間の現状認識の差、違いが大きい）				
松尾自治会が3戸であるが、今のところ協議会の存続維持に問題はないと考える。				
任期3年年で将来的に代々継いでいく人材の不足（高齢化）。併せて認識の変化。				

Q：地区自治連合協議会を維持・存続していく上で、組織体制の見直しを検討・実施されたことがあれば、具体的に記入してください。

組織体制の見直し	
長年お世話になった公民館指導員が辞められ、本年度から新たな人員となり活性化が期待できる。	
体育協会役員については、複数の単位自治会から役員数の減を体育協会に要望されている。単位自治会役員の選出に影響を与えているためである。	
規約等を改正した。	
役員の役職任務の明確化、役割分担で一部の役員に仕事が偏らないようにした。	
特になし。協議会への参加を辞退される自治会の申し出を認めざるを得ない。	

○その他意見

西部の決議機関は、毎月開催の西部自治会長会議及び協議し運営しており、1年に1回の総会等は開催していない。

○自治連合会の運営に悪影響を与えている会費について、意見を述べます。
会費について、減免制度を作りたい。収入の少ない独居老人等への支援です。
・穏やかな老後を暮らしたい。
・体調が良ければ、自治会活動（敬老会、運動会、オレンジカフェ・文化祭）を楽しみたい。
私達、弱い者同士が支えあって生きていくための公助組織が自治会です。
だれもが遠慮なく自治会活動に参加できたら、素晴らしい。
もちろん負担できる方には、応分の負担を求めます。
自治会会費は活動にとって欠かせません。減免対象者は単位自治会が民生委員さん等の意見を聞いて決定すればできます。
減免分は、宮津市等の補助が必要と考えますが、より良質な福祉対策と思料します。
健全な自治会活動を続けるためにも、是非、ご検討願います。

かつては自治会活動は60歳で退職後の人がするケースが多かったと思う。しかし府中地区の自治会の中では満70歳になる年齢で初めて自治会長になる自治会もあり、また40代でなる自治会長となる自治会もある。しかも、府中地区では現在では8自治会長の任期が1年となっているので年度を超えての事業はやりにくい現状がある。（地域会議の推進委員については2年以上）他の地区の自治会の任期はどうなっているかしりたい。

情報共有化の手段。役員づくり、地域の担い手育成。要支援者対策、高齢者対策。今自治連で最も力を入れていることは世代間交流や区民相互の豊かな関係づくり。

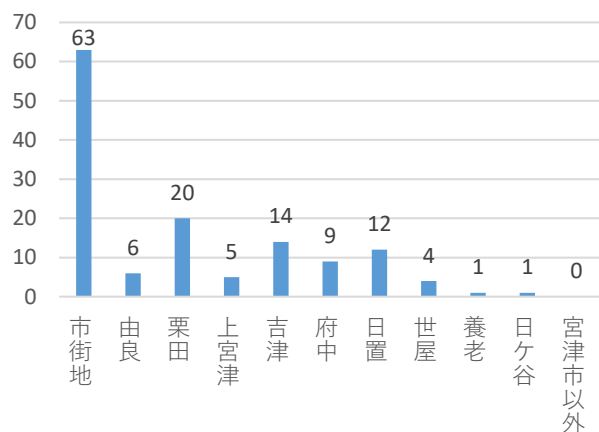
・公共施設再編など南北格差、中心部と周辺部の格差を感じている。・学校問題、診療所問題、消防防災問題など日置自治連との連携、課題が多く今後も増えていくのかと思います。・有害鳥獣処理施設は中山間補助の入る地域から全く補助のない地域に設置された施設で、悪臭発生させたこと等、市自治連として広域的に情報を共有して、解決改善に向けて単位自治会ごとの問題にしないでいただきたい。

各自治会には固有の財産、職務があり、かなり多忙であることと合わせて役職を割り当てると余剰の人材がいらない。

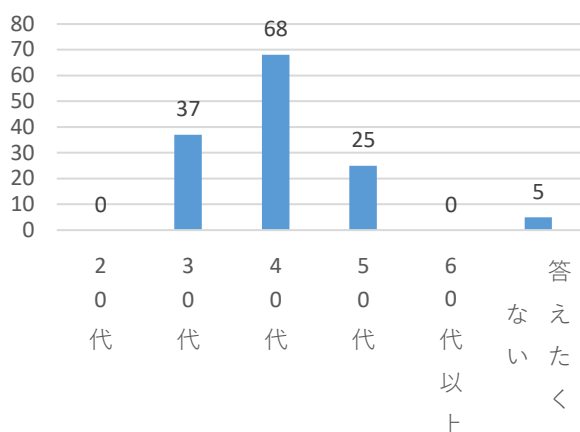
自治会に関するアンケート結果（令和5年度実施）

対象：市内小中学校の児童生徒の保護者
回答数：135

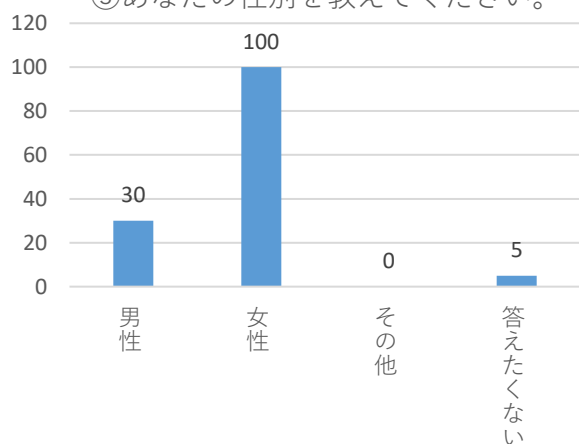
①どちらの地区にお住まいですか？



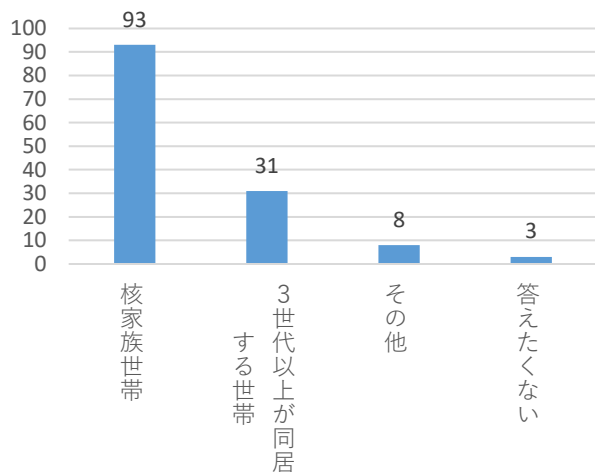
②あなたの年代を教えてください。



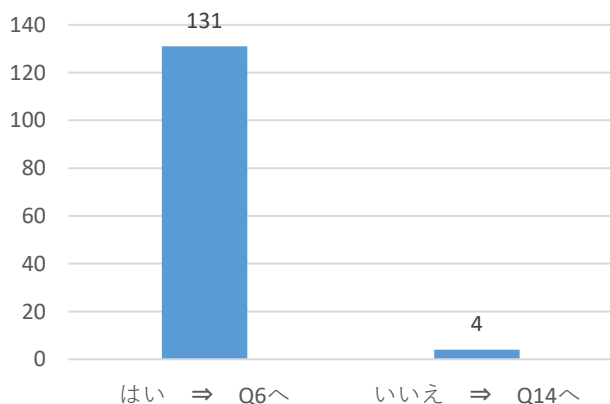
③あなたの性別を教えてください。



④世帯構成を教えてください。

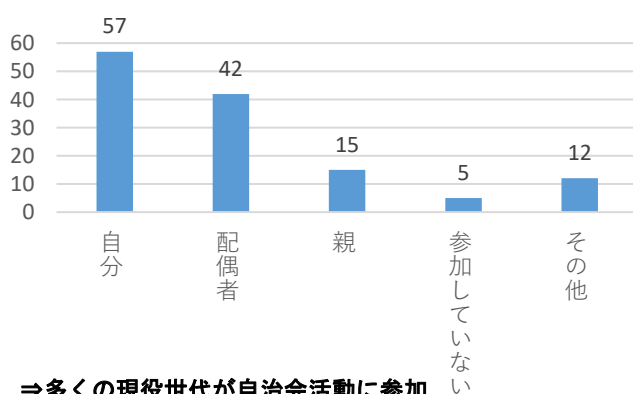


⑤世帯で自治会に加入していますか。



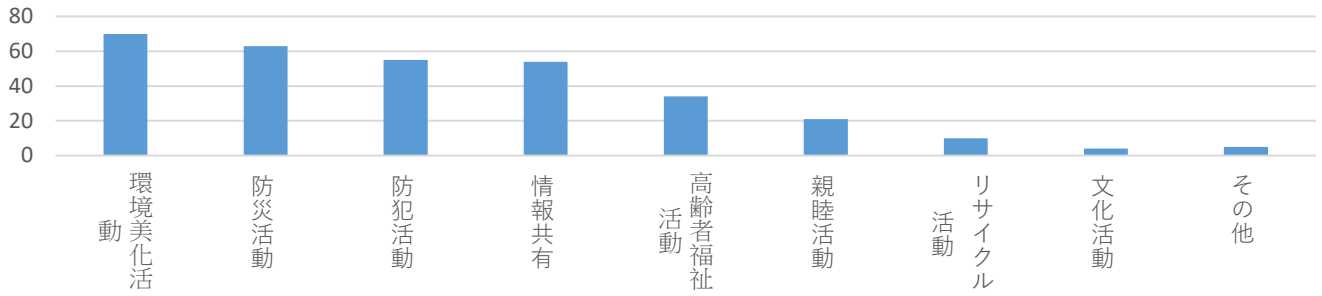
⇒回答者の97%が自治会に加入していると回答

⑥世帯の中で主に自治会活動に参加しているのはどなたですか？



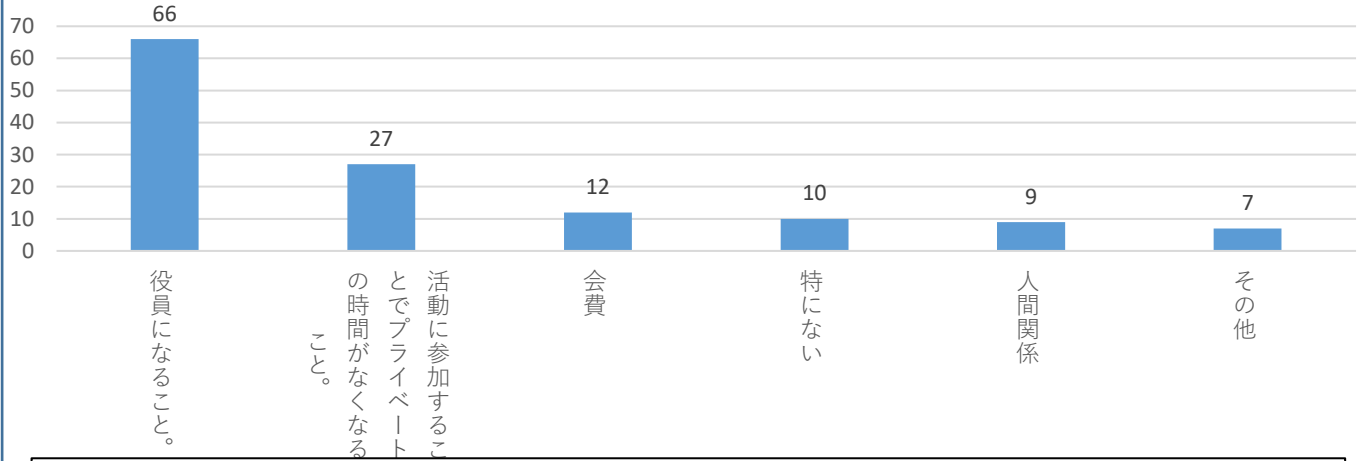
⇒多くの現役世代が自治会活動に参加

⑦自治会活動の中で重要だと思う活動はなんですか？（3つまで）



⇒地域の安全や公序良俗を守るために自治会は必要とされている

⑧自治会に加入している中で、特に負担を感じることは何ですか？

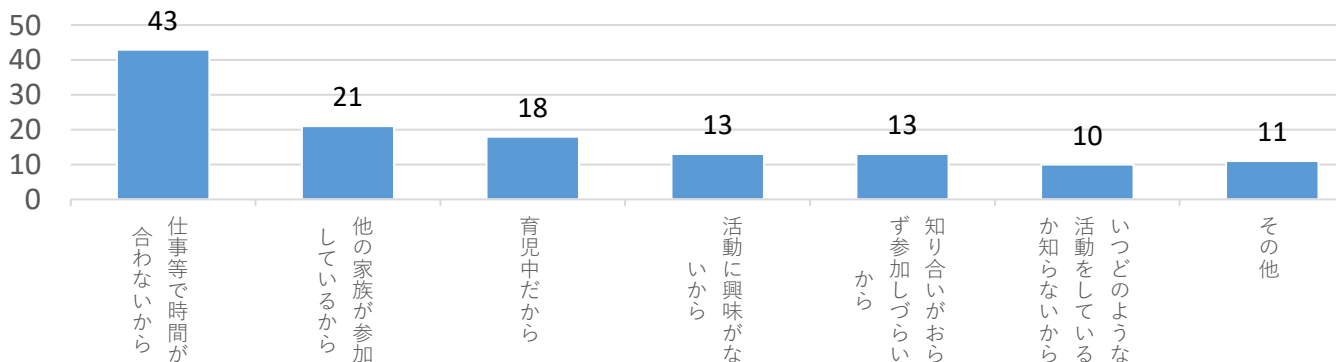


「その他」で出た意見

- ・地域の課題解決等に割く時間が多いこと
- ・地域課題などに対し、地域合意形成していくこと
- ・仕事と時間が合わない
- ・世代による意見、価値観の違い
- ・月に2回の会館掃除を1回にしては
- ・土日祝日は仕事なので、当たり前のように掃除等が日曜日に行われること。もっと早くに予定日が分かれば、休み申請もできるが、情報がギリギリで仕事が休めない世帯があることの理解が欲しい。

⇒役員の事務や、自治会活動による私生活への影響を負担に感じている

⑨自治会に加入しているが活動に参加できない又は参加しない主な理由は何ですか？（3つまで）

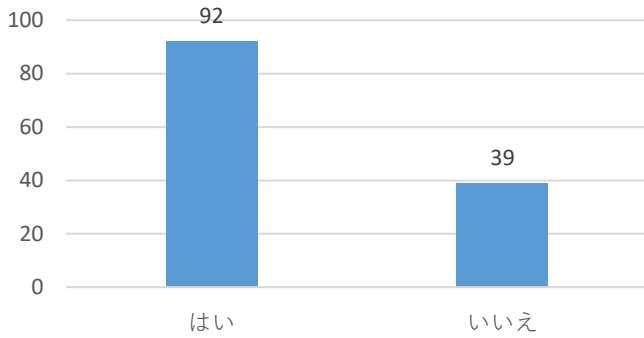


「その他」で出た意見

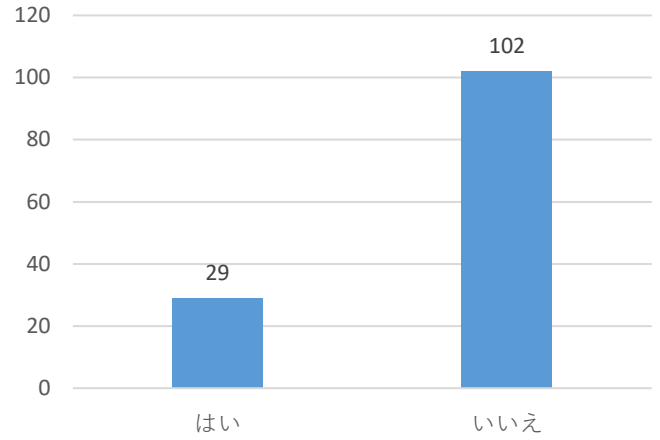
- ・ほかの優先活動が忙しくて時間がない
- ・関わりがなさすぎる

⇒働きながらも誰でも参加できる自治会活動が必要

⑩多くの事務負担が役員に集中する傾向があるが、自分のできる範囲の簡単な作業であれば協力しても良いと思いますか？



⑪将来、役員をしても良いと思いますか？

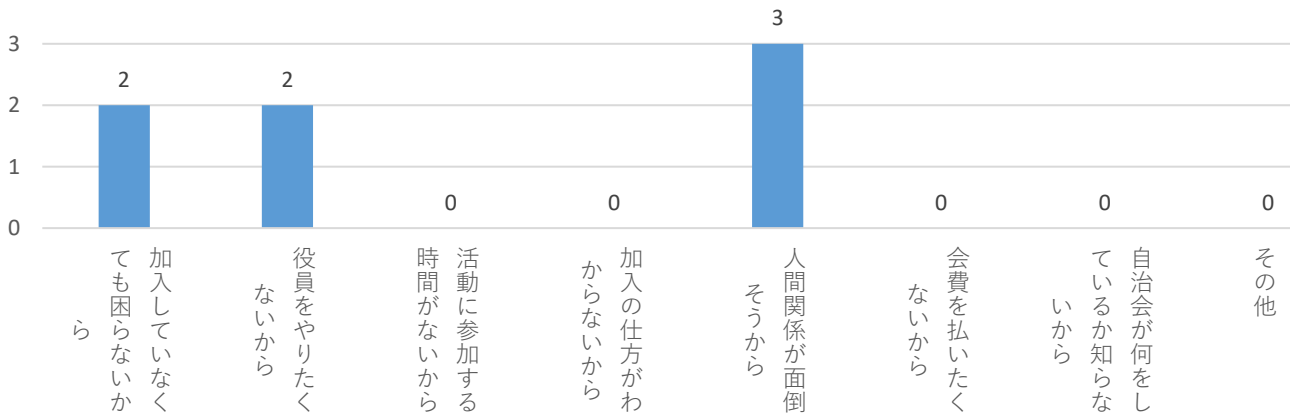


⇒役員の事務負担の大きさを感じ、協力していこうという意識を多くの人がもっているが、役員になることには否定的

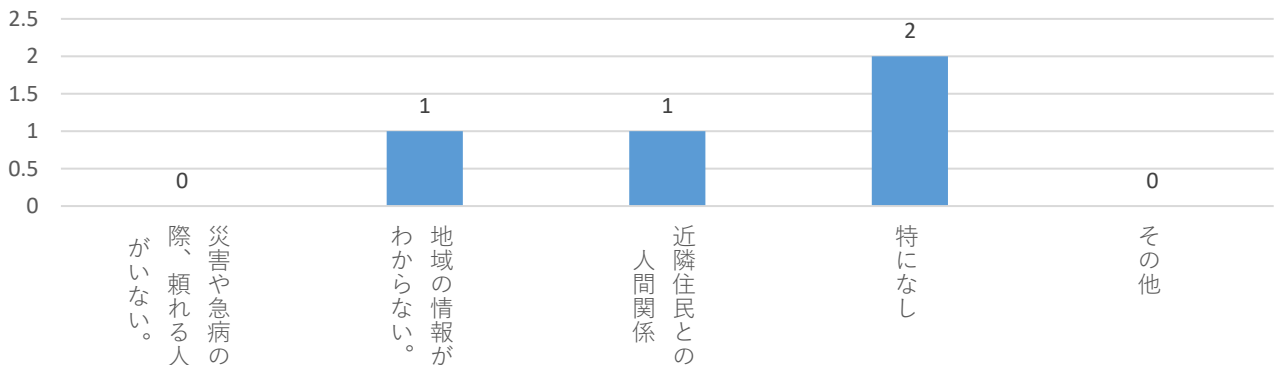
⑫、⑬は別紙参照

(以下⑭、⑮は自治会に加入していない方への質問)

⑭自治会に加入していない主な理由は何ですか？（3つまで）



⑮生活する上で困っていることや不安に思っていることは何ですか？



⑫自治会に加入していた良かったと思うことがあれば記入してください。

おもな意見

【自治会活動に関する意見】

- ・地域コミュニティにとって不可欠な組織。
- ・少人数自治会でも所属することで地域の課題を共有し、対策できる。

【コミュニケーションに関する意見】

- ・地域の人とのつながりを持てること。
- ・子供の顔を覚えてもらい、防犯になること。
- ・祭りや地域行事に参加できる（しやすい）。

【情報共有に関する意見】

- ・回覧板でいろいろな情報を知れる。
- ・地区内の問題やいろいろな考えが分かる。

【その他】

- ・特にない。
- ・できれば抜きたいが、ゴミを捨てれないと聞いたから仕方なく加入している。

⑬自治会の運営に対して不満に思うことがあれば記入してください。

おもな意見

【運営方法に関する意見】

- ・人口減少が進んでいる中で、昔からのやり方で運営（回覧、集金、紙媒体での情報共有）しているため、無理がきている。
- ・簡略化できることは簡略化して、必要のないことやLINE等のツールで済むような話し合いはわざわざ集まってやらなくていい。
- ・集金方法など昔からの方法をとっているために効率が悪いことが多い。働く世代にとっては参加しにくかったり負担が多いことがある。

【役員に関する意見】

- ・今、役員をしているが毎週、毎晩のように会合や資料作成に追われている。子育て世代や、定年してない人がする仕事ではないと思う。
- ・高齢化してきて、役のできる人が減ってきている。
- ・役員の方々には、もっと負担を減らしていってもらえるように各自治会で改革が必要だと思う。

【人間関係に関する意見】

- ・田舎独特の雰囲気は苦手。
- ・半強制的に行事等に参加しないといけないような空気感がしんどい。

【その他】

- ・市のサービスは人数によって決まるため地域によって憂慮格差がある。過疎化している少人数の自治会運営は暮らしを守るレベルでの活動が必要で、毎年問題が積み重なっている。

人口減少が進んでいる地域で生活する上で、地域内でコミュニケーションをとったり、地域で課題を解決していくには、自治会は必要不可欠であるという意見がある一方で、従来の方法では、負担が大きく、組織として成り立たなくなってきており、自治会を維持していくためには、従来の手法を見直し、より簡素化、効率化していく必要があるという意見が多かった。

